【児童用】自己評価シートの使い方

自己評価シートを使って、【ホップ】【ステップ】【ジャンプ】の順に学習を進めていくことで、学習した内容の理解度を自分で評価でき、理解度に合わせて取り組み方を選び、学習内容が今よりもっとわかるようになります。

自己評価シートを使った取り組み方

【ホップ：自己評価をしよう】

○自己評価する内容と教科書のページを開き、ページ初め※1の問題を読んだりノートに写したりしましょう。

○必要に応じて、教科書に示してある吹き出しの言葉を参考にし、問題を解くためのヒントにしましょう。

○問題を解き進め、その後、答えや解き方を教科書や授業中のノートを使って確かめましょう。

【自己評価の目安】

○答えや解き方を確かめた後に、自己評価を行います。A、B、Cのどれかに○をつけます。

A：正解し、問題の解き方がわかった。

B：正解し、問題の解き方がだいたいわかったが、少しわからないところもあった。

C：まちがった。正解したが、わからないところが多かった。

※1　ページの中や後ろの方から問題が始まるときもあります。

【ステップ：チェック問題を解こう】

○自己評価A、Bの場合は、チェック問題に進みます。チェック問題がない場合もあります。そのときは、自己評価シートに示している教科書のページにある問題を解いたり、教科書の【まとめ】を書いたりしましょう。

○自己評価Cの場合には、どこでまちがったのか、どこまでわかるのかをはっきりさせましょう。そして、家族や友達、先生に聞いたり、自分で教科書を読み直してポイントを整理したりしてわかったかどうかを確かめ、チェック問題に進みましょう。

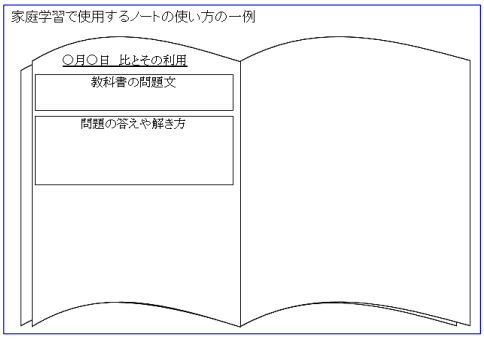
○チェック問題に正解した場合は、自己評価シートのチェック問題の番号（①～）に色をぬりましょう。

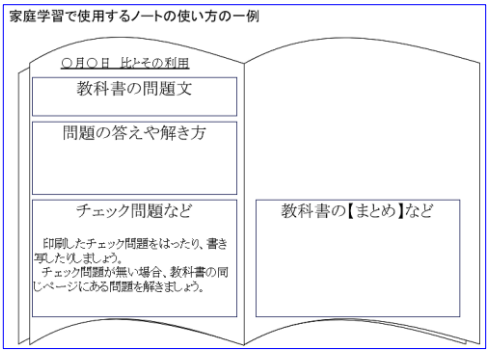
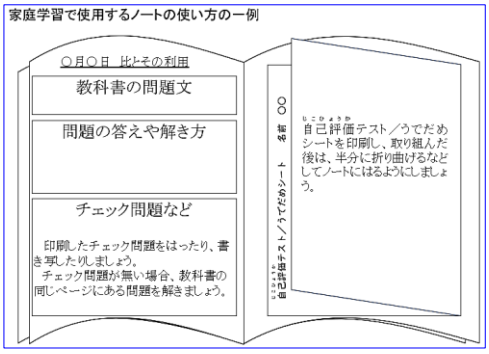
【ジャンプ：今よりもっとわかるように取り組もう】

○「教科書会社の学習プリント」や「佐賀県教育センターの学習プリント」を解きます。答えも付いていますので、問題を解いた後に答え合わせをするようにしましょう。

○まちがった問題は、教科書で学び直したり、答えに解説が付いている場合は読んだりしましょう。そして、もう一度問題を解き直してみましょう。

ノートの使い方の例





チェック問題は印刷したものをノートにはったり、印刷したプリントに直接書きこんだりして取り組みます。ここでは、切り取ってノートにはった方法を示しています。